

入退院支援と 病床管理の 最適化を拓く

—2026 年度診療報酬改定と施設基準管理から—

日 時	場 所	定 員
2026年  9月18日(金) ※16時40分～17時40分	 第8会場 ANAクラウンプラザホテル岡山 曲水(東)	 190名 (先着順)

2026年度診療報酬改定では、2040年を見据え医療機能の分化・強化、地域包括ケアシステムの推進、高齢者救急への対応、入退院支援と地域連携の強化が重要な柱として示されました。なかでも病床管理は、入院・転棟・退院を計画的に進めるための基盤であり、地域連携の在り方や院内フローの再構築、他機関との調整など、多面的なマネジメントが求められる領域です。

看護管理者が「質の高い医療・看護の提供」「病院経営の健全化」「入退院支援」「地域連携の強化」という使命をどのように具体化しているのかを共有し、ともに今後の実践の方向性を議論しましょう。

座 長

国際医療福祉大学大学院
教授 福井トシ子氏



事例提供者

宗像水光会総合病院
看護部長（施設基準管理士）
吉川朱実氏



共立蒲原総合病院
看護部長（施設基準管理士）
松永光代氏

